

# 安城市教育センター運営計画

## 1 目的

安城市の小・中学校教育の研究・研修センターとして、教職員の研究活動を支援・推進し、研修・調査研究・教育相談・教育情報活用に関する事業を推進する。

## 2 重点目標

令和6年度学校教育の指導方針である「いのちの教育」「学び合いのある授業づくり」「一人一人を大切にしたいきめ細やかな支援」を踏まえ、学校における教育活動への支援事業の充実に努める。特に、教育センターが教職員みんなの拠り所になっているかという視点で事業を振り返り、反省し、目的を達成していく。

**「教職員みんなの拠り所になる場所へ」**

## 3 柱とする4つの事業



# 安城市教育センター事業概要

## 1 研修 学びを楽しみ成長する

### (1) 目的

教職員として必要な実践的指導力と専門性を高めるため、人材育成、教育課題の解決、研修成果の還元を目指した研修を設定し、各校の校内研修とともに安城市の教育の充実を図る。

### (2) 方針

ア いのちの教育を推進し、プログラミング教育、道徳教育、英語教育等の今日的な課題について、指導・評価・授業の在り方を研修するとともに、実践を踏まえた内容を実施する。

イ 若手教職員の育成を目指した研修や、職務に応じた専門知識や技術を身に付けるための研修を通して人材を育成し、教育者としての資質向上を図る。

#### 【令和6年度安城市教育委員会研修事業計画】（P3・4研修事業計画参照）

No.	研修名	回数	No.	研修名	回数
1	4役合同研修	1	13	学校事務職員基礎研修	1
2	校長・教頭合同研修	1	14	教職基礎研修	4
3	教務・校務研修	1	15	養護教諭基礎研修	2
4	学年主任研修	1	16	指導員国内教育視察	1
5	いのちの教育推進研修	1	17	指導員県外研修	1
6	授業デザイン研修	1	18	QU分析・活用研修支援	各校
7	安城市研究報告会	1	19	学校司書との連携研修支援	各校
8	個への支援推進研修	1	20	ICT活用研修支援	各校
9	新規採用者研修	3	21	生徒指導研修支援	各校
10	2年目教員研修	1	22	エピペン研修会支援	各校
11	3年目教員研修	1	23	ゲートキーパー研修支援	各校
12	2・3・4年目教員合同研修	2	24	LGBTQの理解促進支援	各校

#### 【令和6年度安城市教育センター開設講座】（P5開設講座参照）

No.	講座名	回数
1	ICT活用(初級、中級、校務での活用編)	3
2	Skymenu cloud を使って授業をしよう	2
3	いのちの教育サポートプランを生かしたQUの利活用	1
4	個への支援(児童生徒理解)	2
5	私の授業づくり(音楽科、社会科)	2

#### 【教育センター講演会】～教育センター開設30周年記念講演会～

日 時 令和6年8月1日(木) 14:00～

講 師 ワコール女子陸上競技部アドバイザー 福士 加代子 様

## 安城市教育委員会研修事業（15種24回）

	研修名	対象者	参加	回	内 容	方法	日 時	備考(講師等)	
職 務 研 修	1 4役合同研修	校長・教頭・主幹教諭・ 教務主任・校務主任	117	1	CSと地域学校協働活動の一体的推 進に向けて ～CSの運営と実際～	講話	8月2日(金) 15:00	文部科学省 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官 社会教育実践研究セン ター社会教育調査官 文部科学省総合教育政 策局地域学習推進課専 門官 志々田まなみ	
	2 校長・教頭合同研修	校長・教頭 主幹教諭	59	1	学校で起こる法的問題への対応 ～問題の未然防止や初期対応等へ の効果的活用について～	講話	8月9日(金) 9:15	西三河教育事務所 スクールロイヤー 永谷 和之	
	3 教務・校務合同研修	教務主任 校務主任	58	1	今求められる、ミドルリーダーの役割 と可能性	講話	8月23日(金) 14:00	岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇	
	4 学年主任研修	学年主任	150	1	若手を育て、ともに成長する	講話	8月7日(水) 9:30	愛知教育大学大学院教育学研究科 教授 鈴木 佳樹	
教 育 課 題 研 修	5 いのちの教育 推進研修	・各校正規教員・常勤講師 3名以上 ・希望する非常勤講師	87	1	不登校の理解と予防的支援	講話	8月21日(水) 9:15	愛知教育大学 教授 五十嵐哲也	
	6 授業デザイン研修	・各校正規教員・常勤講師 3名以上 ・希望する非常勤講師	100	1	子どもファーストの授業づくり	講話	8月7日(水) 14:00	元静岡県公立小学校校 長 元教育委員会指導主事 鈴木 恵子	
	7 安城市研究報告会	・各校研究推進担当1名 ・1～4年目教員(養栄含) ・希望する非常勤講師		1	昨年度の安城市教育を「振り返る」 ～「主体的・対話的で深い学び」、IC Tの学び合い 派遣研究生を中心に ～	視聴	動画配信		
	8 個への支援 推進研修	・養護教諭 ・正規教員・常勤講師2名 以上 ・希望する非常勤講師	87	1	発達障害への理解と対応～自閉症 を理解する～	講話	8月6日(火) 9:15	名古屋市立大学大学院 医学研究科 こころの発達医学寄附講 座 助教 山田 理恵	
少 年 経 験 者 研 修	9 新規採用者研修	小中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 新規採用事務職員		1	開式「安城を支える教師として」 心を支える(教員のメンタルヘルス)	講話	4月24日(水) 14:00	教育センター臨床心理士 長谷川恵里	
				2	①社会人としてのマナー・接遇	実習	7月31日(水) 14:00	接遇インストラクター 落合 タ子	
				3	②No.10安城市研究報告会参加	視聴	動画配信		
	10	2年目教員研修	2年目教諭・養護教諭・栄 養教諭		1	教師としての企画・構想力アップ& 私の教育相談会 ～野外研修・作手村～	実習	8月20日(火) 終日	指導員 担当指導主事
	11	3年目教員研修	3年目教諭・養護教諭・栄 養教諭		1	私たちの「学び合い」をつくる ～授業研究会で授業者を支える～	実習	未定	会場校校長 指導員
	12	2・3・4年目教員合同研修	2・3・4年目教諭・養護教諭・ 栄養教諭		1	周期開催(R6②、R7③、R8①) ①GU・学級経営 ②生徒指導 ③ICT 活用	講義	7月26日(金) 14:00	安城市教育センター 社会教育指導員 水上 敏則
					2	No.10安城市研究報告会参加	講話	動画配信	
	13	学校事務職員 基礎研修	経験3年以下の事務職員 (市外からの転入事務職員 等希望者)		1	周期開催(R6③、R7①、R8②) ①市会計予算執行、②人事任用服 務、③文書情報管理、④毎年・相談 全般 ※教科書、就学援助は学事係主催の 説明会(4月、12月)に希望して参加可 能	講義	8月20日(火) 9:15	①総務課庶務係 ②指導係 ③④総括事務長
	14	教職基礎研修	教職経験通算3年 以下の常勤講師		1	新規採用者のみ No.11-1回に参加	講話	4月24日(水) 14:00	
					2	子ども理解のヒント	講話	5月17日(金) 14:00	教育センター所長
					3	社会人としてのマナー・接遇	視聴	動画配信	接遇インストラクター 落合 タ子
					4	私の教育相談会	実習	7月31日(水) 9:00	指導員
15	養護教諭基礎研修	安城市勤務経験1年目の 養護教諭(講師) 希望する養護教諭		1	エビベン研修(希望者)	実習	4月15日(月) 15:30	八千代病院小児科	
				2	執務上の課題について (安城市勤務経験1年目の講師と 希望する養護教諭)	実習	7月24日(水) 14:00	主任養護教諭	
視 察	16 指導員国内教育視察	指導員	関係職員	1	先進的国内教育視察	見学	年度内の3月中旬まで に報告書が出せるよう に実施	視察2泊3日以内(視察地 未定)	
	17 指導員県外研修	指導員		1	先進的実践校等視察	見学	11月20日(火)～ 11月21日(水)(予定)	視察1泊2日(視察県未 定)	

## 校内教育研修支援

	研修名	内 容	方法	日 時	備考(講師等)	
校内教育 研修支援	1	QU分析・活用 (年間3校程度)	学級経営に役立つQUの分析・活用	講義	随時	社会教育指導員 QUリーダーズネットワーク
	2	学校司書との連携	学校司書と連携した学び合いの 授業実践のヒント	講義	随時	安城市教育センター 図書館教育アドバイザー 石原 紳
	3	GIGAスクール構想対応 ICT活用	ICTを活用した「学び合い」の推進 メディアリテラシー 情報モラル	講義	随時	安城市教育センター ICT活用アドバイザー 服部 利範
	4	「生徒指導」支援	不登校、いじめ、虐待などの生徒指導上 の問題の早期発見や組織的な対応等 について考える	講義	随時	安城市教育センター スクールソーシャルワー カー 三浦 陽市 加藤 治好 久永 克彦 水上 敏則
	5	エビベン研修会支援 (指定された10校)	シミュレーション実習 カンファレンス	講義	指定日	八千代病院小児科
	6	ゲートキーパー研修支援 (年間3校まで)	教職員のゲートキーパーの力の育成 (教職員が、職場内、あるいは子どもた ちのかかわりに生かしたり、児童生徒 へのゲートキーパー力育成の必要性を 理解するための研修)	講義	随時	安城市保健センター職員
	7	LGBTQの理解促進支援	昨年度の市の研修「誰もが命を大切にさ れる学校に」(遠藤まめた氏)の研修動 画を活用、必要な配慮等について考える	講義	随時	アンサーバー>02共有教材情報> LGBTQの理解促進動画(校内教育研修 支援)

## 安城市教育センター開設講座（5種10回）

	No.	研修名	回	内 容	方法	日 時	備考(講師等)
開設講座	1	「新しい学びをデザインするためのICT活用 (とりあえず授業で使ってみよう)」 初級編	1	タブレット端末を使ったことがない、 使うことが苦手、使いたくてもどう 使ったらいいかわからないという方 向け。とりあえず授業で使ってみよう と思えるような方法について学ぶ。	実習	7月23日(火) 13:30	
	2	「新しい学びをデザインするためのICT活用 (授業でクラウドをフル活用しよう)」 中級編	1	タブレット端末は使っているけれど、 先生から生徒へ一方通行になっている 現状をかえたいと考えている方向 け。クラウドをフル活用して、時と場 所を選ばない「つながる」新しい学び の方法について学ぶ。	実習	7月24日(水) 9:00	愛知県教育委員会 ICT教育推進課 ICT教育グループ 川出 功辞
	3	「学校生活をデザインするためのICT活用 (学級で校務でICTを活用しよう)」 中級編	1	今の働き方を変えたい、子供たちと 向き合う時間を増やしたいと考えて いる方向け。学校生活をデザインす るためのICTの活用方法について学 ぶ。	実習	7月24日(水) 13:30	
	4	Skymenu cloudを使って授業をしよう 初級編	1	Skymenu cloudをあまり使ったことが ない、使い方に自信がない方向け。 基本的な活用方法を中心に学ぶ。	実習	7月26日(金) 13:30	情報教育指導員 Sky株式会社 ICTソリューション事業部 システムサポート部 インストラクター 加藤 裕美
	5	Skymenu cloudの機能を使いこなそう 中級編	1	基本操作を習得している先生向け。 SKYMENU Cloudの便利な活用方法を 学ぶ。	実習	7月26日(金) 9:00	SKYMENUエキスパートTeacher
	6	「いのちの教育」サポートプラン を生かした「QUの利活用」	1	実際のQU検査をもとにした相談会 ※できれば学年単位で受講し、児童 生徒への具体的支援や学年の支援 体制にいかす。 (6枠まで)	講話	8月21日(水) 終日	東海地区Q-Uリーダー ネットワーク
	7	「個への支援」 外国にルーツのある児童生徒への 理解と支援のヒント	1	外国にルーツのある子どもたちへの 理解を深めるとともに、必要な配慮 や通常の学級における学習支援等 について考える。	講話	7月30日(火) 14:00	特定非営利活動法人 多文化共生サポート Adagio 高木 祐子
	8	「個への支援」 不登校児童生徒理解と支援のヒント	1	安城市における不登校支援の実情 を事例を通して理解する。また、SS W・支援団体とともに、不登校児童 生徒のよりよい支援の在り方につ いて考える。	講話	7月23日(火) 9:15	SSW 安城市不登校・ひきこもり 支援ネットワーク 三浦陽市 SSW他
	9	私の授業づくり 音楽科授業実践のヒント	1	音楽科「学び合う」授業のヒント	講話	7月31日(水) 14:00	音楽科指導員 榎田 文子
	10	私の授業づくり 社会科授業実践のヒント	1	社会科「学び合う」授業のヒント	講話	8月23日(金) 9:15	社会科指導員 野村 直孝

## 2 調査研究 学校教育の「これから」を形にする

### (1) 目的

学校教育が抱える今日的課題や長期的展望に立った課題について、教職員の資質向上につながるより実効性のある調査研究を進め、授業で役立つ教材資料の充実や、各教員の研究を支援する体制の充実を図る。

### (2) 方針

指定研究や自主研究等を生かして、各教員の教育研究を支援し、教師としての力量を高める。

#### 安城市教育委員会指定研究の推進

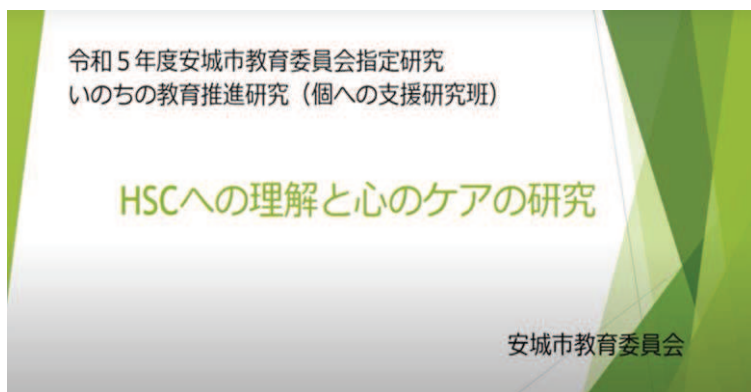
- ・研究員は、所属長および本人の了解を得て、安城市教育委員会より委嘱する。
- ・各研究班に顧問校長を依頼し、指導主事、指導員が1名以上参画する。
- ・研究委員の互選による責任者を中心に企画運営を行う。

No	研究グループ名	研究内容の概要
4	情報モラル教育推進研究	○ICT機器の安心・安全な使い方の研究
2	体力・運動能力アップ推進研究	○安城市の小学生の体力・運動能力結果を分析・効果的な運動の研究
3	SSWとの連携支援研究	○複雑な環境下にある児童生徒への対応法の研究
4	学校教育と著作権の関わり研究	○教材づくりにおける著作物の取り扱いと教員間で使えるデータベースづくり

#### 指定研究グループ成果物

「いのちの教育推進研究（個への支援研究）」

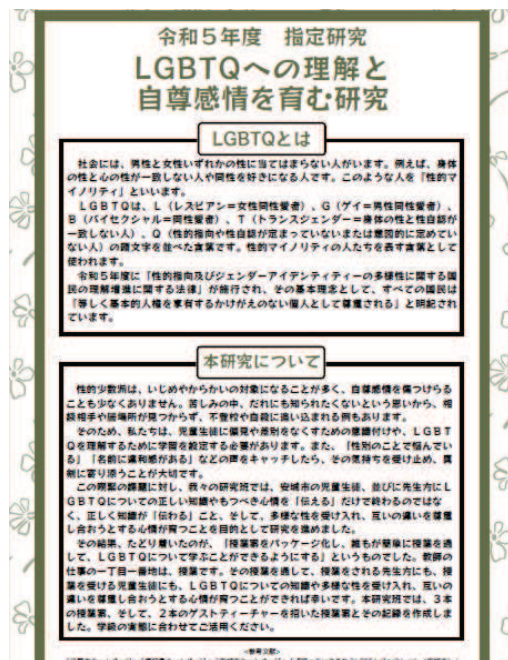
アンサーバー（市内学校間ネットワーク）に配信（動画資料）



#### 自主研究グループ

自主的な研究活動により、教師としての力量を高めるとともに、地域に生きる教師の親和共励を図る。

- ① 健康教育研究「はぐくみ」の会
- ② 「教師力」を高める「勇気づけ」の心理学
- ③ 「できた」を増やす学習支援の会
- ④ 学び合いの授業づくりに向けたICT



「いのちの教育推進研究（自尊感情）」

アンサーバーに授業展開例等を配信

## 教育研究論文の募集

### 《教育研究論文》

〈募集領域〉

- 1 教科指導
- 2 道徳科
- 3 外国語活動
- 4 総合的な学習の時間
- 5 特別活動
- 6 特別支援教育
- 7 教育相談
- 8 学校・学年・学級経営
- 9 生徒指導
- 10 進路指導
- 11 健康教育
- 12 その他



開設講座

## 教職員の研究相談

- ・研究・実践上の諸問題について、随時教職員の相談に応じる。
- ・研究図書や先行研究、実践例、講師や研究校等の情報を提供する。
- ・QU検査結果をもとに、学級経営相談の場を設ける。



初任者研修開講式

## 派遣研究生

- ・1年間、研究機関へ派遣する。
- ・年度末に研究資料および報告書を作成する。
- ・次年度の研修等において、研究成果を発表する。
- ・研究紀要(第62集)に研究概要を掲載する。



## 研究紀要の刊行

1年間の教育研究の概要をまとめる

### 【掲載内容】

- ・教科指導員の3年間にわたる継続的研究のまとめ
- ・派遣研究生の研究成果紹介
- ・教育論文特選者の全文と応募一覧



研究紀要第61集

## 教育研究諸機関との連携

全国教育研究所連盟および東海北陸教育研究所連盟への加入により、各地の先進的な研究の交流を行い、本センターの研究について積極的に紹介する。

### 3 教育相談 自立に向かって力を合わせる

#### (1) 目的

いじめ・不登校や進路・適性等に関する相談をはじめ、保護者や教職員のさまざまな相談に応じる。不登校児童生徒を支援するために、学校との連携を図り、適応指導教室「ふれあい学級」活動の一層の充実を推進する。

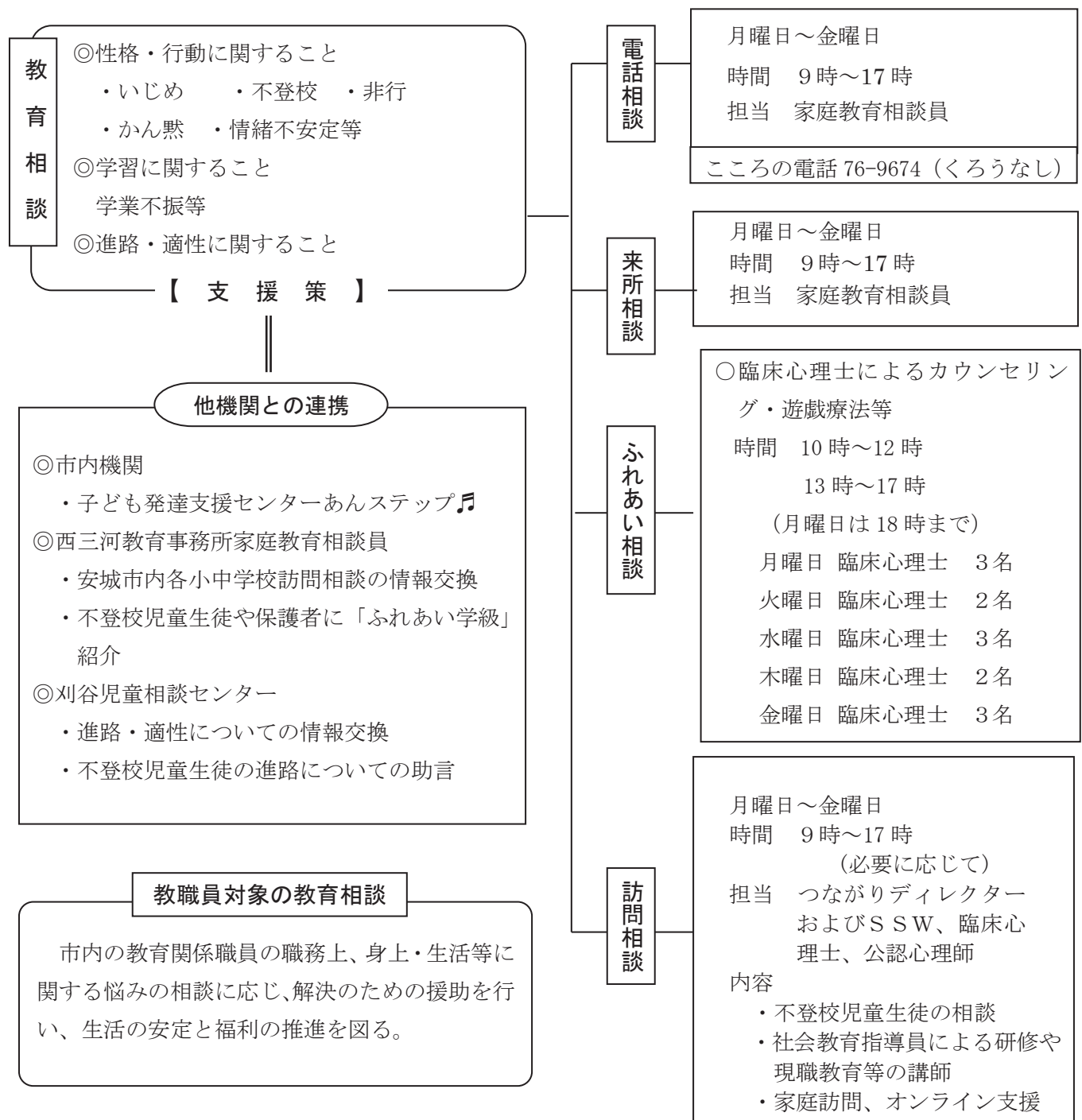
#### (2) 方針

ア 学校復帰、社会的な自立を目指した環境を整えるために、保護者、学校、関係機関との連携を密にする。

イ 適応指導教室への継続的な通室や学校復帰のために家庭との連携を密にする。

ウ 特別支援等のさまざまな支援を要する児童生徒への教育相談の充実を図る。

エ 子ども発達支援センターをはじめとする関係諸機関との連携を図り、関係学校への支援をつなげる。



## 適応指導教室「ふれあい学級」

### 【開室日および開室時間】

- ・ふれあい学級（教育センター内）  
月曜日～水曜日・金曜日 9時～15時 木曜日 9時～12時
  - ・ふれあい学級北教室（北部福祉センター内）  
火曜日～金曜日 9時～15時 木曜日 9時～12時
  - ・ふれあい学級南教室（明祥プラザ内）  
火曜日～金曜日 9時～15時 木曜日 9時～12時
- ＊祝日、年末年始、北教室及び南教室については施設休館日を除き、夏季・冬季休業中も開室。  
（夏季及び冬季休業中学習時間 9:00～11:30）
- 不登校児童生徒が社会的自立や学校復帰に向かうよう、個別指導、集団適応指導、生活指導、補充学習およびカウンセリング等を行う。
  - 保護者との面談を適宜実施し、家庭との連携を密にする。
  - つながりディレクターおよびSSWによる学校及び家庭訪問支援・オンライン支援を行う。
  - 助言者を招き「ふれあい学級運営会議」を開催し、個の理解と運営について話し合う。

### ◎達成感・成就感を生む、個に応じた補充学習

- ・アイデアを生み出しやすく、個を生かす活動
- ・学習内容を自己決定する場を保障する
- ・意欲を高めるため、面談を通して学習の動機づけを図り、個に応じた支援を継続する。

### ◎社会性を育てる異年齢集団活動の推進

- ・ゲーム的活動（将棋・トランプ・ゲーム等）
- ・軽スポーツ（卓球・バスケットボール等）
- ・共同作業的活動
- ・校外活動（遠足・社会見学等）

### ◎持続力を養い、成就感を生む活動

- ・調理・楽器演奏・折り紙・栽培等

### ◎カウンセリングの実施

- ・日々の活動の様子から心理状況をとらえ、個に応じて生活をよりよくするための自己決定を支援していく。
- ・ふれあい学級運営会議で、個々の状況分析と期待する段階的な姿を明確にし、必要に応じてカウンセリングを実施する。

### ◎ボランティアの導入

- ・人間関係づくりを学ぶために、ボランティアと子どもたちが一緒に学習活動や体験活動に取り組む。

### 保護者との連携

- 保護者のカウンセリング
- 通室面談・懇談会
- つながりディレクターおよびSSWによる訪問支援、オンライン支援

### 学校との連携

- 教育相談・担任面談
- 通室状況報告書の作成・送付
- 訪問支援  
つながりディレクターおよびSSW、公認心理師が計画的に学校に訪問し、管理職や関係職員と体制づくりや対策・支援について話し合う。
- 登校支援、交流支援  
個々の通室生の状況に合わせた学校の情報の発信、担任等との対面やオンラインによる交流の機会を設定する。

### 適応指導教室「ふれあい学級」運営会議

助言者を招き、活動記録に基づいて個の理解と運営について話し合う。

### 不登校に関する調査研究・事業

- ・不登校の実態把握、援助方法の研究
- ・学校復帰後の追跡調査

### 家庭訪問支援

学校や保護者の要請を受け、つながりディレクターおよびSSW、社会福祉士や適応指導教室指導補助員が家庭に出向き、児童生徒や保護者との関係を築き、社会適応に向けた支援を行う。

### 「ふれあいネット」開催支援

「ふれあいネット」において指導助言等を行う。



## 4 教育情報活用 「知りたい」を届ける

### (1) 目的

学び合いのある授業づくりや事務の効率化に寄与するために、教育関係情報の収集や共有化を進めるとともに、安城市独自の教育情報提供および活用促進に努める。

### (2) 方針

ア 校務支援ソフトの円滑な運用を図る。

イ 安城市教育情報ネットの一層の活用を図る。

ウ ICT活用のための情報提供及びICT教育の推進を図る。

エ 情報教育支援事業と情報モラル教育の推進を図るとともに、情報活用能力の育成を図る。

### 安城市教育情報ネットの管理・運用・活用

#### ・研修・講演

学校教育に関わる研修や講演

保護者対象の講演が行われる際の、学校への案内配布

#### ・教育図書閲覧

図書室にて教育に関わる書籍や雑誌の閲覧・貸出（一部）

教科用図書の閲覧

#### ・教育相談

小学生から中学生までの本人・保護者（安城市内在住者）との相談

不登校や発達障害などの教育に関わる相談（電話・来所）

### G I G A スクール構想の推進

#### ・NEXT G I G A支援室の設置

より質の高い教育の実現に向けたICTの活用推進

タブレットやアプリ等のICTを効果的に活用した学び合いのある授業づくりの推進

学習の状況に応じた教材の提供による知識・技能の習得等、効果的な学びの支援

教育機器利用の研究や利用促進、タブレットを利用したオンラインでの配信についての研究

情報活用能力（情報の収集・取捨選択・構成・発信）とICT機器活用能力の育成

情報教育の推進およびICT活用の支援のための、情報技術者（SE）の派遣

#### ○教材・教育図書の貸出サービス

・教材（CD、DVD）

・教育図書

併せて10（本・冊） 3週間以内

#### ○教育センター所報『啐啄』の発行

・教育センターの活動紹介、各校の

研究紹介、教育情報の発信 他

・年間3回発行（4月・9月・1月）



所報『啐啄』

## 安城市教育センター講演会

### 教育センター講演会

令和6年8月1日(木) 14:00～

ワコール女子陸上競技部アドバイザー

福士 加代子 氏

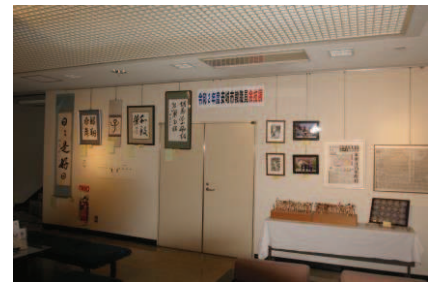
### 第61回かがくのひろば

- ・期 日 令和7年1月18日(土)～1月19日(日) へきしんギャラクシープラザ
- ・場 所 へきしんギャラクシープラザ (安城市文化センター)
- ・表 彰 かがく大賞 環境賞・ウェルビーイング賞 優秀賞、入賞
- ・出展者 市内小中学校 安城市少年少女発明クラブ
- ・その他 「あいち少年少女創意くふう展」「全日本学生児童発明くふう展」「市村アイデア賞」等への出展

### 令和6年度 教職員余技展

令和2年度より、常時展示

- ・出展者 市内小中学校の教職員による自由参加
- ・展示場所 2階展示ロビー
- ・展示作品 絵画・書・写真・収集物・彫刻・陶芸・手芸・生け花 等



昭和55年	4月1日	安城市教育研究所開設準備
	5月31日	「研究所だより」創刊号発行
	10月1日	条例・規則の施行 開所 初代所長 小野内 英司氏 就任
	12月24日	VTR編集機設置
56年	4月1日	2代所長 坂倉 禅溪氏 就任
	4月17日	東海北陸教育研究所連盟に加盟
	6月9日	全国教育研究所連盟に加盟
57年	4月12日	教育研究所改装工事検査
58年	4月1日	3代所長 岡田 仁氏 就任
60年	2月28日	創立5周年記念誌「5年の歩み」および別冊（研究所だより合本）を発行
	4月1日	4代所長 田中 實氏 就任
62年	4月1日	5代所長 神谷 美好氏 就任
63年	6月23日	コンピュータ研修室設置
	6月24日	新ビデオ編集システム導入
	10月1日	6代所長 石川 満氏 就任
平成元年	2月1日	2階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
	4月1日	7代所長 杉浦 健氏 就任
	6月28日	OHP、VTR等視聴覚機器補充
3年	1月17日	3階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
	4月1日	8代所長 味岡 亘氏 就任
	6月21日	研究所要覧発行
	11月1日	創立10周年記念誌「教育研究所の歩み」発行
4年	10月1日	安城市教育センター（仮称）専門委員会の設置および第1回委員会の開催
	10月21日	第2回専門委員会の開催
5年	4月1日	安城市教育センター（仮称）事業採択 平成5年度・6年度継続事業で建設
		9代所長 神谷 輝幸氏 就任
	7月2日	教育センター建設工事起工式
6年	4月1日	条例・規則の改正、安城市教育研究所を閉所、安城市教育センターとして業務開始
		初代所長 久永 雅俊氏 就任
	5月18日	安城市教育センター定礎式
	7月26日	安城市教育センター開所式 教育センターだより「啐啄」創刊号発行
	8月1日	開所記念教育講演会開催「講師：東京家政学院大学長 河野重男氏」
	10月15日	市民向けコンピュータ講座開始（土曜日4回開設）
7年	3月1日	安城市教育センター情報ネットワーク開設式
	5月1日	「安城市教育研究所だより」創刊号～84号合本発刊
	6月30日	第1回安城市小中学校ふれあい会議開催
	7月4日	生涯学習・市民教養講座「わかりやすいまちづくり講座」開始
8年	2月6日	第1回教職員余技展開催
	4月1日	2代所長 神谷 美好氏 就任
	5月20日	インターネット接続開始
	9月12日	インターネットで英会話授業（安祥中とホブソズベいの中学校）
	11月7日	戸田提山氏より書の寄贈「愛語よく廻天の力あるを学すべきなり」
	11月30日	安城市小中学校ふれあい会議主催ふれあいサミット開催（「ふれあい宣言」採択）

9年	4月 1日	3代所長 田中 賢氏 就任
	11月 26日	市内8中学校インターネット導入見学会
	12月 1日	市内8中学校ホームページ開設
	12月 19日	第1回安城市教育センター・データ審査委員会
10年	4月 1日	市教委指定研究グループにおいてマルチメディア教材開発開始 臨床心理士による「治療教育」開始
	5月 26日	デジタル・システム工事
	11月 2日	市内小中学校ホームページ登録・運用開始
11年	4月 1日	市内全小中学校ホームページ独自管理運用開始
	7月 16日	文部省・郵政省「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」(衛星回線工事開始)
	7月 27日	開所5周年記念講演会開催「講師：茨城大学助教授 新井 孝喜氏」
	8月 6日	ビデオ教材購入開始(視聴覚センター選択部会)
12年	1月 6日	緊急雇用対策情報教育支援事業開始(情報技術者の学校派遣)
	4月 1日	4代所長 岡田 義征氏 就任 新情報システム事業開始(週2日、情報処理技術者の常駐) インターネットによる情報提供開始
	8月 14日	教育センター・ホームページ全面更新
	11月 1日	インターネットによるデータベース提供開始
13年	3月 9日	コンピュータ研修室のコンピュータ更新
	4月 11日	教育図書、研究資料、視聴覚センター教材・機器等のデジタル化開始 (緊急地域雇用創出支援事業によるデータ入力補助員3名)
	7月 3日	適応指導教室幼稚園実習開始(年5回)
	7月 16日	適応指導教室自然教室開始(作手村1泊2日)
	9月 1日	教育センター・桜町小学校無線LAN接続によるインターネット高速化試験開始
14年	9月 1日	コンピュータソフトウェア教材開発開始
	4月 1日	5代所長 杉浦 紀久氏 就任 文部科学省「ふれあい学級マルチメディア活用研究委託事業」開始
	6月 1日	視聴覚センター巡回ビデオ小中学校開始
	11月 15日	全国適応指導教室連絡協議会東海北陸地域会議愛知大会開催
15年	4月 1日	文部科学省「スクーリング・サポート・ネットワーク事業」開始
	7月 15日	デジタルビデオ編集専用機の導入
16年	2月 4日	第1回「自作教材フェア」開催
	4月 1日	6代所長 山本 隆教氏 就任
	5月 12日	市教委指定研究グループにおいて学校との連携研究開始
	7月 26日	開所10周年記念講演会開催「講師：相田みつを美術館館長 相田 一人氏」
17年	5月 16日	視聴覚センター「DVD対応ビデオプロジェクター」貸し出し開始
	9月 1日	学校間ネットワーク運用開始
18年	4月 3日	7代所長 岩月 俊之氏 就任
	4月 13日	特別支援教育相談開始
	5月 12日	就学指導相談開始
	10月 23日	図書およびビデオ等の電子貸出システム開始
	12月 12日	新規購入図書・ビデオ等の学校間ネットワークを活用した情報提供開始
19年	4月 1日	8代所長 杉浦 智之氏 就任

	4月 2日	情報教育支援事業開始（年次更新作業）
	9月 5日	全職員への教育情報のメール配信開始
20年	4月 1日	市民講座を廃止 ふれあい学級での学習ソフト使用開始
	6月 17日	ふれあい学級と学校の担任を結ぶ「ふれあいほっとライン」開始
21年	4月 1日	9代所長 阿部 佳之氏 就任
22年	4月 1日	10代所長 早川 昭二氏 就任
23年	4月 1日	11代所長 三宅 信夫氏 就任
	5月 24日	「校務支援ソフト」中学校運用開始
24年	4月 27日	「校務支援ソフト」小学校運用開始
25年	5月 21日	ふれあい学級への学生等ボランティア採用開始
26年	4月 1日	学校経営アドバイザーの配置
	7月 24日	開所20周年記念講演会開催「講師：早稲田大学教職大学院教授 田中 博之氏」
27年	3月 1日	タブレット端末導入
	3月 25日	教育委員会移転のための改修工事完了
	4月 1日	12代所長 大見 健治氏 就任
29年	4月 1日	13代所長 安藤 寿英氏 就任
		学校図書館教育アドバイザーの配置
30年	4月 1日	不登校児童生徒支援アドバイザーの配置
31年	2月 1日	プログラミング教材「レゴWeDo2.0」貸し出し開始
	3月 31日	安城市視聴覚センター廃止
	4月 1日	14代所長 神尾 壽明氏 就任
令和元年	6月 24日	学校用高速カラープリンタ設置
2年	1月 21日	
	～ 24日	教職員余技展「Final」開催
	4月 1日	不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター（2名）配置
	4月 1日	ふれあい学級として、南教室・北教室を設置
3年	4月 1日	GIGAスクール推進室設置
	4月 1日	ICT活用アドバイザー（1名）配置
	4月 1日	不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター増員（1名）
4年	4月 1日	15代所長 都築光男氏 就任
	4月 1日	つながりディレクターとの兼任による スクールソーシャルワーカー（SSW）配置（4名）
5年	4月 1日	社会福祉士をスクールソーシャルワーカー（SSW）として配置（2名）
6年	4月 1日	16代所長 井上幹夫氏 就任
		GIGAスクール推進室を、安城NEXT GIGA支援室として改編 スクールソーシャルワーカー（SSW）としての社会福祉士を増員（3名体制）

# 安城市教育センター設置条例

( 昭和 55 年 9 月 29 日  
条 例 第 30 号 )

改正 平成 6 年 3 月 28 日安城市条例 第 7 号 平成 13 年 3 月 23 日安城市条例第 6 号  
平成 17 年 6 月 30 日安城市条例第 42 号抄 令和 2 年 3 月 27 日安城市条例第 10 号

## (趣旨)

第 1 条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 30 条の規定に基づき、安城市教育センター（以下「教育センター」という）の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

## (設置)

第 2 条 教育の充実と振興を図るため、教育センターを設置するものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称 安城市教育センター 位置 安城市横山町下毛賀知 13 番地 1

2 教育センターに適応指導教室を置くものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称 ふれあい学級 位置 安城市横山町下毛賀知 13 番地 1

名称 ふれあい学級北教室 位置 安城市東栄町 6 丁目 9 番地

名称 ふれあい学級南教室 位置 安城市和泉町大下 38 番地 1

## (事業)

第 3 条 教育センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 教育関係者の研修に関すること。
- (2) 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。
- (3) 教育相談に関すること。
- (4) 教育に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (5) その他教育の充実と振興を図るため必要な事業に関すること。

2 適応指導教室は、前項第 3 号に掲げる事業のうち不登校児童生徒への支援に関するものを行う。

## (職員)

第 4 条 教育センターに所長その他必要な職員を置く。

## (企画運営委員会)

第 5 条 教育センターの企画及び運営について審議するため、安城市教育センター企画運営委員会を置く。

## (教育委員会規則への委任)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、教育センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 この条例は、昭和 55 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年 3 月 28 日安城市条例第 7 号） この条例中、第 1 条の規定は、平成 6 年 4 月 1 日から施行し、第 2 条の規定は、別に教育委員会規則で定める日から施行する。（平成 6 年 6 月教委規則第 6 号で、同 6 年 7 月 26 日から施行）

附 則（平成 13 年 3 月 23 日安城市条例第 6 号） この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 6 月 30 日安城市条例第 42 号抄） この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年 3 月 27 日安城市条例第 10 号）

## (施行期日)

1 この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

## (明祥地域複合施設条例の一部改正)

2 明祥地域複合施設条例（平成 27 年安城市条例第 49 号）の一部を次のように改正する。（次のよう略）

# 施 設 ・ 設 備

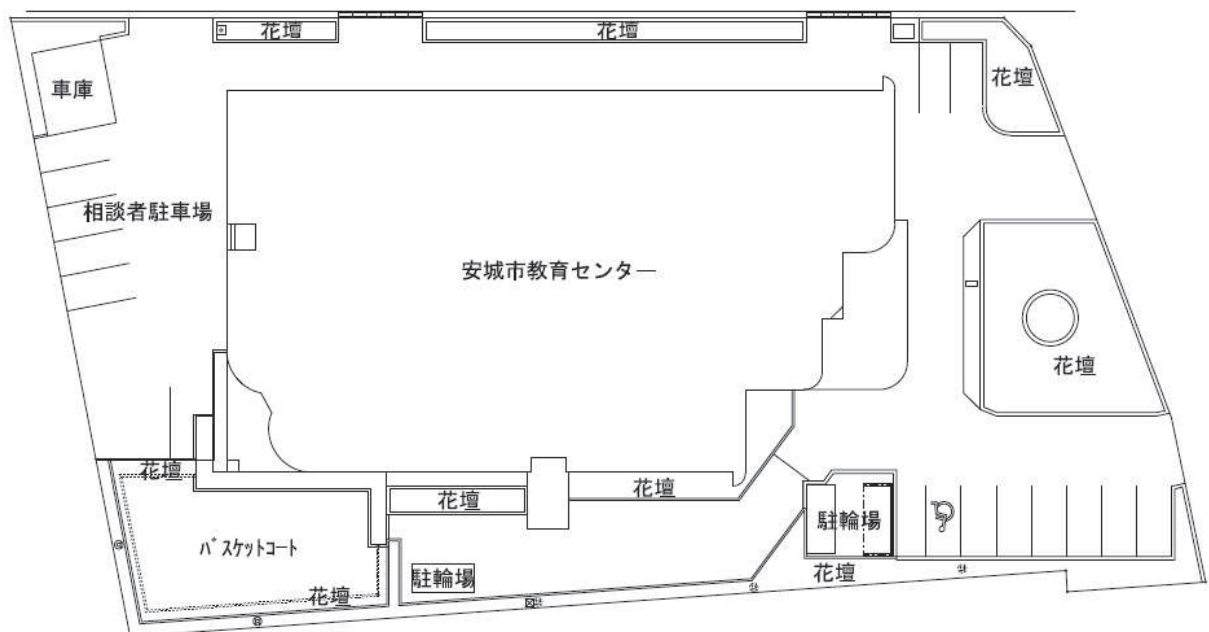
## 施 設

建設地	安城市横山町下毛賀知13番地1
敷地面積	3136.00 m <sup>2</sup>
建築面積	1195.68 m <sup>2</sup>
延床面積	3136.74 m <sup>2</sup>
内訳1階	1147.50 m <sup>2</sup>
2階	1117.87 m <sup>2</sup>
3階	833.04 m <sup>2</sup>
塔屋床面積	38.33 m <sup>2</sup>
構 造	鉄筋コンクリート造3階
基 礎	鉄筋コンクリート造杭打独立基礎
建物最高高	16.35 m
仕上げ概要	屋根 アスファルト防水 外壁 磁器質タイル(95×45) 一部複層塗材吹付

## 設 備

電気設備	
受電電力	180kW
火災報知設備	受信機 P型1級20回線
ITV観察装置	プレイルーム テレビカメラ1台
空調設備	
冷温水発生機	
冷却塔一体型ガス焚二重効用吸収式(2台)	
都市ガスLNG	
空気調和機	1台
パッケージエアコン	2台
給排水衛生設備	
給水設備	市上水道
受水槽FRP(二層式)18,500ℓ	
高置水槽SUS6,000ℓ	
排水設備	屋内・汚水・雑排水分流式市下水道
消火設備	屋内消火栓 6か所

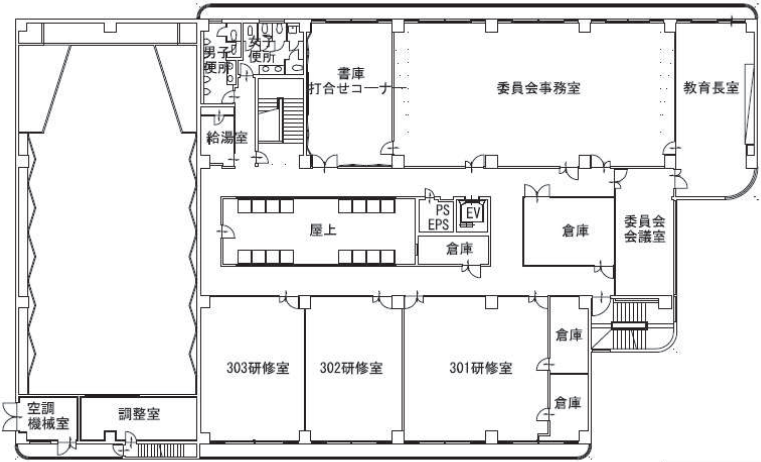
## 【配置図】



# 平 面 図

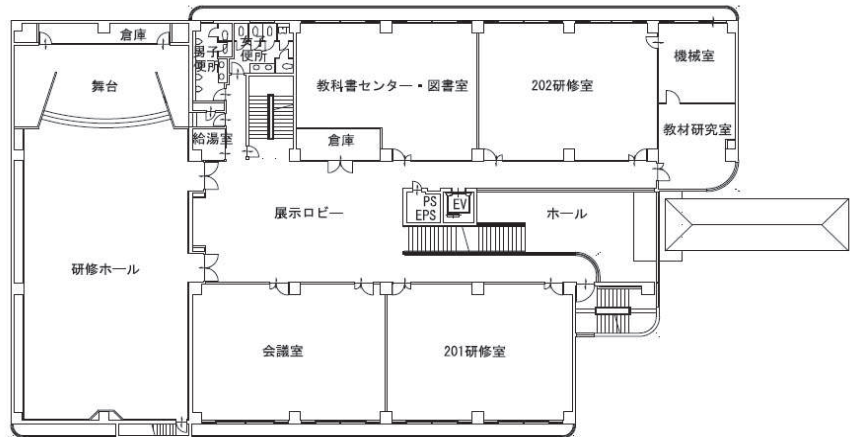
(収容人数・名)

教育長室	60.8 m <sup>2</sup>
教育委員会事務室	188.1 m <sup>2</sup>
書庫・打ち合わせコーナー	53.0 m <sup>2</sup>
委員会会議室	35.0 m <sup>2</sup>
301 研修室	110.7 m <sup>2</sup> ( 32)
302 研修室	57.7 m <sup>2</sup> ( 33)
303 研修室	62.3 m <sup>2</sup> ( 33)



3階 平面図

研修ホール	325.4 m <sup>2</sup> (226)
会議室	117.7 m <sup>2</sup> ( 42)
201 研修室	113.0 m <sup>2</sup> ( 63)
202 研修室	110.7 m <sup>2</sup> ( 60)
教材研究室	58.5 m <sup>2</sup>
教科書センター・図書室	96.6 m <sup>2</sup> ( 23)



2階 平面図

所長室	28.5 m <sup>2</sup>
教育センター事務室	81.7 m <sup>2</sup>
書庫・文書棚	78.5 m <sup>2</sup>
視聴覚教材室	38.0 m <sup>2</sup>
相談室 1	53.2 m <sup>2</sup>
相談室 2・3	84.5 m <sup>2</sup>
音楽室・楽器倉庫	72.1 m <sup>2</sup>
プレイルーム	82.3 m <sup>2</sup>
学習室 1・2	38.4 m <sup>2</sup>
教育相談事務室	43.4 m <sup>2</sup>
ふれあい学級	59.7 m <sup>2</sup>



1階 平面図



## ◎利用案内

- 開館時間 \*午前8時30分～午後7時(月～金)
- 教育相談 \*月曜日～金曜日  
午前9時～午後5時  
\*電話による相談にも応じます  
(上記の時間内に76-9674くろうなしまで)
- 休館日 \*土・日曜日  
\*祝日、国民の休日  
\*12月29日～翌年1月3日まで  
\*教育委員会の定める日
- 視聴覚機材、教材の利用  
\*楽器類 2週間以内  
\*教育図書 3週間以内・10冊まで

## ◎案内図

### 【交通案内】

安城市教育センターへの交通案内

- ・JR 東海道新幹線・東海道本線「三河安城駅」より、タクシー約10分
- ・JR 東海道本線「安城駅」より、あんくるバス約10分、タクシー約7分
- ・名鉄名古屋本線「新安城駅」より、タクシー約15分
- ・名鉄西尾線「南安城駅」より、あんくるバス約20分、  
タクシー約10分

(あんくるバス循環線左まわり「教育センター」停 下車)

